

災害時の避難所運営などで注文いくつも 市議会総務常任委員会と防災士会が意見交換

上越市では530名を超える防災士のみなさんが市民の防災意識の高揚、防災訓練の企画・指導などで活躍されています。13日、市議会総務常任委員会が上越市防災士会のみなさんと地域防災について意見交換をしました。

総務常任委員会からは「どんな活動を行っているか」「議会に何を望むか」「行政にやってもらいたいことはあるか」などの質問が出されました。また、「自主防災組織が1つの集落だけを組織の対象にしているいいものか。複数ということも考えないといけない

のではないか」などいくつかの意見や提案も出されました。

防災士のみなさんからは、「町内会や自主防災組織の代表を補佐しているが、町内会長は何年も経たないうちに替わることがあり、それにどう対応するかが悩みだ」「県道沿いに空き家があり、大雪の時、勝手に屋根の雪下ろしをしていいか考えた」「1000人からの避難者が想定される避難所での市の担当職員は3人だ。これで新型コロナ対応ができるのか」「防災士は曲がり角に来ている。高齢化も進んでいる。合格してからのスキルアップが重要だ。若い人からも防災士になってもらいたい」などの声が出されました。

意見交換会では、防災活動を進めていくうえで課題が見えてきました。行政に対するいくつかの注文も出されました。また、「地元町内会では地域通貨を発行して屋根の雪下ろしなどの支え合いをやっている」など興味深い活動も紹介されました。有意義な会だったと思います。

うめたにさんの集會に 300人が参加

衆院新潟6区から市民と野党の統一候補として立候補を予定しているうめたにさんの集會が10日、行われました。うめたにさんを今度こそ国会に送り込もうと支援する市民、各団体など



【ハナニラ】ネギ亜科の多年草。漢字で「花菖」と書きます。別名はセイヨウアマナ（西洋甘菜）。有毒で、原産地はアルゼンチン。3月～4月に白から淡紫色の花を咲かせます。花言葉は、「愛しい人」「悲しい別れ」など。写真は4月9日、吉川区原之町のKさんの庭で撮影しました。



から約300人が集まりました。上越市議会も7人が参加しました。

森ゆうこ参院議員や篠原孝衆院議員が国会報告し、うめたにさんが決意を表明しました。

森参院議員が、選挙でお金をもらった側の誰ひとり御答めをうけないなかで広島では再選挙が行われていること、7万円からの食事をご馳走になつて政治がゆがめられても責任をとらないなど、いまの政権の腐敗ぶりをわかりやすく告発しました。篠原衆院議員も、長期政権の弊害が一挙に膿となって噴出していることを指摘し、政権交

代が絶対必要だと訴えました。

うめたにさんは、核兵器を使わせない政治を実現することなど、政治の道を歩むことにした原点を語り、新型コロナから国民を守るために、さらなる大胆な財政支出、消費税減税などを訴えました。また、人口減少の流れを変え、地元のために頑張る決意を語りました。そして、「新潟6区の（市民と野党の統一の）動きが先進事例となっている。新潟6区から日本を変えていこう」と呼びかけました。

新協定案の住民説明会は 25日に市民プラザで

立地自治体はもちろんのこと、柏崎刈羽原発から30km圏内の自治体が原発再稼働にあたって事前了解権を持つべきだとして運動しているUPZ（原発から30km圏内）研究会メンバーによる「新協定案、住民説明会」が25日14時から市民プラザで行われます。ぜひご参加ください。当日は私も主催者側の一人として参加します。

同研究会には日本共産党議員団の3人も含め上越市議会議員7人、元市議会1人が参加しています。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2007 2021.4.18

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六五四回

同郷の人

いつか再会したいなと思っていた人としてに再会できました。その人はミヨコさん、旧源小学校水源分校時代、二年間同じ教室で学んだ一級上の先輩です。

ミヨコさんは私と同じ尾神出身で、歳は私よりもひとつ上です。それでいて同じ教室だったのは、同分校は複式学級だったからです。ミヨコさんとは、私が一年生だった時と三年生だった時に同じ教室で学びました。

ミヨコさんとは旧源中学校卒業後、親戚の葬儀で一緒になったくらいで会うことはありませんでした。

それが四年前、同じ尾神出身で軽食・喫茶「あひる」を経営しているセイコさんのところでもあったり会ったのです。そのときはうれしくて、いろんな話をしました。その時、「ミヨコさんはおれの知らないことを知っている」そう思いました。

私は、小学校の低学年、中学年時代の薄れた記憶をミヨコさんが思い出させてくれる気がして、もっと話を聞きたい、また会いたいと、ずっと思っていました。でも、その後、セイコさんとの会話の中では、

「この間、ミヨコちゃんがお母さんと一緒にきてくんだった」などと何回もミヨコさんの名前を聞くことはあっても、なかなか会えませんでした。

再会の機会は突然やってきました。先日の土曜日のことです。「あひる」で昼食をとっていると、セイコさんが、「これからミヨコちゃんが子どもさんと来ると、さっきな電話があった」と教えてくれたのです。私は「わー、それはうれしい。じゃ、もう少しここに居させてもらおう」、そう言って待たせてもらいました。

しばらくすると、ミヨコさんはやってきました。私に気づかず奥の席に座ろうとしたので、「ミヨコさん、おれ、わかんない」と声をかけました。私の声を聞き、私

の目も見て気づいたのでしよう、「わかるこてね」という言葉が返ってきました。

正直言うと、マスクをしていたので、私も「あれっ、この人、ミヨコさんだろうか」と思ったのです。

ミヨコさんには、「水源分校の写真、あったがだでもな」と言っていて、スマホの中をあれこれ探したのですが、すぐには見つかりませんでした。それで、気になっていた分校時代のことから話し始めました。

「オし、一年生になったばっかのとき、自分の名前、書けなくてさ」

「おれだってそだよ、書かんねすけ、マル書いたもんだわね。書かんねかった人、多いと思うよ」

「そっか、おれだけでねかったがか」

「……」
「おうちの孫じちゃ、授業参観のときだったか、担任の先生がおれの名前を間違えて呼んだもんで、『先生、おらちゃんがノリカズと呼んでくんねせ』とお願ひしたかと」
「おまんの名前、なかなか読まんねと思うよ。むずかしいもん」

ミヨコさんとの話の中で、小学校に入っただけの頃、自分の名前を書けなかったのが私だけではなかったと聞いて、なぜか安心しました。

ミヨコさんは、自分の同級生のことや地域のことを次々と語ってくれました。

「何年か前、直江津でタダアキさんと、ヒトシさんとノブちゃ、会っていたがね。そんで、おれにも来いと言わんで、行ったがど。ノブちゃ、その後、一、三年で亡くなっちゃった。いい人だったね」

同郷っていいもんですね。ノブちゃんやタイハイさんのこと、尾神のしだれ桜の昔のこと、ナトリのことなど知っている人や地名が出てきただけで、気持ちが一つになるんですから。セイコさんも途中から話に加わり、楽しいひと時を過ごしました。

市内小中学校で入学式、私は吉中の入学式に参加

ニュースフラッシュ

4月8日、吉川中学校の入学式に参加してきました。今年度の新入生は28人です。

式では、校長の今井先生が入学生の確認をした後、「例年以上に心が浮き立ちます。小さなことでいいから、努力が報いられる経験をたくさんしてください。みなさんの可能性は無限大です」と歓迎の挨拶をされました。

来賓を代表してPTA会長の阿部さんが新入生を激励。在校生を代表して3年生の小山さんが、「みなさんは一人ではありません。会場にいるみんながみなさんの仲間です」と励ましました。

これをうけて新入生の高嶋さんが、「新しいことがたくさんあるので少し不安もある。困ったときは仲間や先生などと相談していきたい。一人ひとりを大切にすれば学校生活は楽しいものになると思う。充実した中学校生活にするため全力で頑張る」と決意を表明しました。

入学式後の恒例の職員紹介。校長



の今井先生は、新入生に向けて、「みなさんがびっくりするような働きかけがあるかも。その時は大人の対応を」と訴えると笑いが起きました。その期待に応えて、元野球部顧問だった(?)H先生がカキーンという声を発してパフォーマンスを行いました(^^)



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月7日(水)	4月14日(水)
上越南消防署	0.043	0.053
上越北消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.063	0.077
東頸消防署	0.040	0.057
名立分遣所	0.050	0.063
高士分遣所	0.053	0.057